



大阪の 社会福祉

2022年5月

804



社会福祉法 大阪市社会福祉協議会

<https://www.osaka-sishakyo.jp>



▲それぞれの気づきや思いをわいわい話しながら共有

阿倍野区

地域でできることを、地域で考える
く 清明丘地域
わいわいトークく

阿倍野区清明丘地域は、自分たちの地域にどのような課題があり、どのような活動が必要なのかを見つける場として「わいわいトーク（住民懇談会）」を、1月28日、2月25日、3月25日の3回にわたって開催しま

した。懇談会では地域の強みや課題、「私ならこんなお節介ができる」や「地域でできること」などを、文字どおり「わいわい話し合いました。（2面に続く）

HB

この4月から成人年齢が引き下げられ、18歳から大人ということになった▼犯罪を犯すと実名報道の可能性があると、ローンやカードなどの契約が未成年を理由に取り消すことができなくなるとか、日本中が大騒ぎをしている。また、選挙の投票はできるけれど、お酒やたばこはいけないなど、この18歳ルールに矛盾もいっぱいある▼一方、児童福祉法ではずっと前からこどもは18歳まで。大学に入れば22歳まで施設に居住することも可能だが、児童養護施設にいるこどもは高校を卒業すれば、基本的には施設を出て自立しなければならぬ▼住む家も相談する家族もない中で、多くの18歳が一人で社会に出ていくという現実があった。一般家庭の18歳の大半が高等教育を受けている時代に、施設出身者は3割ほどしか高等教育に進めていないというところもある▼少数派というのはいつもそうなのだろうが、児童福祉法の18歳までを世間はほとんど無視していたのに、今回の18歳成人には大騒ぎをしている社会に言いたい。少数派にもちゃんと向き合ってほしい。

(石)

阿倍野区では、地域住民が自分たちの地域のことや暮らしの課題、必要な取組みについて話し合う場として、平成28年度にもわいわいトークを開催し、阿倍野区地域福祉計画を策定しました。翌平成29年度、各地域での地域福祉行動計画の策定をめざし、清明丘地域では計4回の地域版のわいわいトークを開催。ここから「男の集い」や「みんなの食堂」が生まれるなど、具体的な活動につながった経緯があります。

そして今回、コロナ禍で人と人とのつながりが弱まっていくときだからこそ、できることを考えたという地域の思いから、令和3年度、再びわいわいトークを開催することになりました。

コロナ禍での開催となったため、区社協や清明丘会館、老人いこいの家の各会場に分かれた【地理・交通】【高齢者】【孤立を防ぐための取組み】【地域ボラン



▲日頃の活動をふりかえりながら、活発に意見が交わされました（前方中央：本庄会長）

ティア【子育て】の5つのグループをリモートでつなぎ、区社協職員が各グループのファシリテーターとなって話し合いを進めました。

地域の強み、今ある活動を活かす

第1回目は、「地域の強み、課題」をテーマに各グループで意見を出し合いました。先に述

べたように、前回のわいわいトークなどを通じて、課題に対する活動が多く生まれ、既存の活動が数多くあることが強みであること、一方で、「気になる人、来てほしい人が活動に参加していない」「十分に周知がいきわたっていない」という課題があることがわかりました。

第2回目のテーマは、「第1回目で出された課題に対して地域ができることを考える」で、新しい取組みだけではなく、既存の活動の充実や発展について活発に意見が交わされました。たとえば、「みんなの食堂」など、すでに

ある活動の周知には、SNSを活用したり従来からある掲示板や全戸配布などの方法も見直してみてもどうか、「黄色いリボン（災害時の安否確認ツール）」を日常の見守りにも活かしてはどうかなどのアイデアが出されました。

また、平成29年度のわいわいトークで、【障がい児・者】については、人が集まって対面話し合う場では意見が出しづら



▲清明丘会館では「孤立を防ぐための取組み」と「地域ボランティア」をテーマに話し合いました

「小さなお節介」が地域を変える

という意見があったことをふまえて、障がい児・者に関わる複数の事業所にアンケート調査をおこない、その結果を共有しました。

第3回目は、佛教大学・専門職キャリアサポートセンターの金田喜弘先生を講師に迎え、1、2回目を踏まえて「私なら、地域なら、こんなことができる」をテーマに話し合いました。

金田先生からは、よりよい見守りに向けて「出会う、知る、対話する、共に行動する、相互



▲金田先生のお話をふまえて、より具体的に実践できることを考えました

理解する」ことが大切であり、少しずつのお節介をみんなが持ち寄ることが必要であるとの話がありました。また、「困っているときからのアプローチは難しい。犬の話や桜の話、天気の話などの「プラスの話」から関係性を築くことで、何かあったときに声をかけられる」とポイントが伝えられました。

清明丘地域活動協議会の本庄史憲会長は、3回のわいわいトークをふりかえり、「困りごとを抱えている人に対して、誰かがやるだろうという考えや自己責任論で片付けてしまわずに、地域で気にかけていきたい」と締めくくりました。



「社会課題・SDGsヒント博」

自分ごととして事業活動を捉えてもらえる「社協すごろく」

ヒントに出会う、人に出会う展示会

淀川区社協では、3月26日から4月10日に行われた「社会課題・SDGsヒント博」に出展し、「よどがわしゅきょう版すごろく」を展示しました。

届ける活動をしている団体等、NPO法人や民間団体、企業を含めた14団体が参加し、それぞれの活動内容を展示しました。

これは、同博委員会・委員長である白石忠弘さんの発案で、心齋橋筋商店街にある「心齋橋ミツヤ」の2階を会場に開催されたもの。区社協以外にも、病気の子ども「きょうだい」のためのNPO法人や、手作りのあかりを医療・福祉施設などに



▲団体の活動紹介パンフレットや作品を展示



▲よどがわしゅきょう版すごろく

また、参加した人たちが他団体やいろいろな人とつながりができる、そうしたヒントに出会える場所にもなればと思います。Z世代が多数行き交う、この場所だからこそ開催す

る意義があります」と話しました。

社会福祉士の実習生も参加して

区社協が展示したすごろくは、区内在住のひとりの女性が誕生して人生を終えるまでのライフステージという設定で作られています。人生には悲喜こともさまざまな出来事があり、その都度、岐路に立たされたり、悩んだりして進んでいきます。すごろくでは、マスを進めるごとにそれぞれの課題に対して、関連する社協の事業やサポート内容を絡めて紹介しており、自分ごととして捉えやすい仕組みになっています。

区社協・地域支援担当係長の吉田ひろみさんは、「白石さんから出展のお話をいただいたとき、まずは社協を知ってもらいたい、そしてSDGsにもつながるよう、企業にも協力してもらえりやうな分かりやすいものを作りたいと考えました」とふりかえります。すごろくの構想ができた後、社会福祉士の実習生と

職員も一緒になって、自分ごととして捉えやすいフレーズや課題などを出し合いながらまとめられました。学生たちは、これを作りながらようやく社協事業のつながりが理解できたと話し、一方職員側も、こういう風に行えば伝わりやすいということが分かり、意識改革につながりました。

身近なキーワードを気付きのきっかけに

すごろくの他、課題に対する詳細をまとめた小冊子も作成されています。「これまでも各社協ごと、工夫を凝らしたパンフレットが作られていますが、どうしても事業内容主体になりがちです。しかし、一般の人たちは事業名を言われても自分がどの状況に当てはまるのか自分ごとには置き換えにくく、このすごろ



▲左から株式会社心齋橋ミツヤ常務取締役小儀洋二さん、白石忠弘さん、吉田ひろみさん

くのようにキーワードの方がリンクさせやすいのではと考えました」と吉田さん。

カタチを変えて広がるつながり

「社会課題・SDGsヒント博」はいったん終了しましたが、今後は展示内容を替えたり、企業と連携を深めたり、カタチを変えながら活動を広げていく予定とのこと。吉田係長は「すごろくを更にブラッシュアップさせて、さまざまなつながりの場にも積極的に参加して、社協のことを紹介していきたい」と抱負を語りました。

すごろくのマスには…

生理がきた…
ナプキンが欲しいって言えない

社協の取組み
サニタリードライブ

お歳暮貰ったけど食べきれないな捨てるのもったいないし…

社協の取組み
フードドライブ

シングルマザーは大変
おむつが足りない・ごはんも足りない・学用品が買えない

社協の取組み
子どもレスキュー事業

多くの人に届けたい！

市・区社協で動画を続々と発信！

コロナ禍以降、対面や集合しての取組みや活動が難しくなるなか、市・区社協でも動画を活用した発信が増えていきます。取組みの代替方法としてだけではなく、動画で発信することにより伝わりやすくなったたり、また、これまで情報が届きにくかった層へ届けられる可能性もあります。ここでは、令和2年度、3年度に作成した市・区社協の動画の一部を紹介します。



▶ 体操動画でリフレッシュ！

体操の動画配信は、実際にお手本となる動きや気をつけておこなう点を見ながら、家でも一人でも取り組めるコンテンツです。北区社協の「北ワハハ体操（※1）」や城東区社協の「じょうとうストレッチ」、阿倍野区社協の「あべのちよこつと体操

〜ひとりでも、みんなでも〜（※2）」など、各区オリジナルの体操を配信しています。フレイル予防のため、健康維持のため、毎日の習慣としておこなう際に動画での配信が役立ちます。

▶ 知ってもらうために

社協のことや事業のことを知ってもらうための動画も多数あります。市社協の「市・区社協の活動紹介動画」（令和3年12月号掲載）や大正区社協の「大正区社会福祉協議会の紹介」（※3）、北区社協の「北区地域包括支援センター」など組織の役割を知ってもらうためのものや、西淀川区社協の「西淀川ささえあいあいプラン（※4）」や東成区社協の「東成区『高齢者食事サービス』〜昔とコロナ禍の現在そしてこれからに向けて〜（※5）」、淀川区社協の「サニタリードライブ」のように、活動や取組みをPRするための動画も増えています。

▶ 学びの機会を共有

これまで集合型で開催していた研修や学びの場を、動画で配信することも増えています。大阪市社会事業施設協議会・市社協の「一水会・区社会福祉施設

北区社協

北ワハハ体操 ※1

<https://www.osaka-kitakusyakyou.com/wahaha/>



ひとことメッセージ

毎日の新しい習慣として、ぜひ取り入れてみてください！

阿倍野区社協

あべのちよこつと体操 ~ひとりでも、みんなでも~ ※2

<http://www.abenokushakyo.jp/news/movie2022.html>



ひとことメッセージ

空いた時間にお好きな場所で続けて健康 まっしぐら！！

大正区社協

大正区社会福祉協議会紹介動画 ※3

https://www.youtube.com/watch?v=tALPkF46I_Y



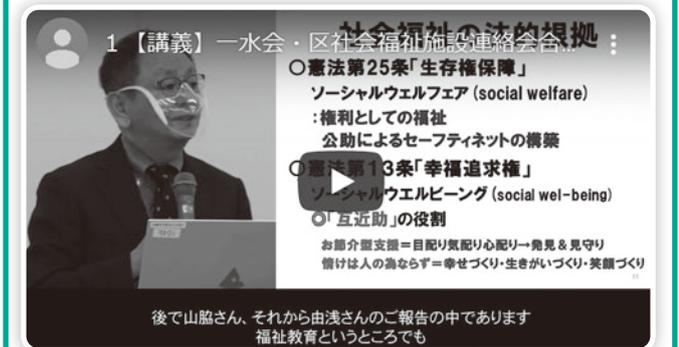
ひとことメッセージ

見て、知って！大正区社協♪

大阪市社会事業施設協議会・市社協
一水会・区社会福祉施設
連絡会合同学習会 ※6 (令和4年4月号掲載)



<https://sisetsukyo.osaka-sishakyo.jp/?post-training=isk>



ひとことメッセージ
15～20分単位で視聴できます。施設職員や社協職員の研修にご活用ください！

西淀川区社協 西淀川
ささえあいあいプラン ※4



https://www.youtube.com/watch?v=w4wy8Ron_6s



ひとことメッセージ
西淀川ささえあいあいプランって？
区民の皆さんと推進中！

城東区社協 【史跡めぐり】
みんなで『あ・る・こ』 ※7



<https://www.youtube.com/watch?v=OFYu0Ug3w8U>



ひとことメッセージ
マップ片手にウォーキングする際の参考にしてください♪
北コース・中央コース・南コースと3種類の動画があります。

東成区社協 東成区『高齢者食事サービス』
～昔とコロナ禍の現在そしてこれからに向けて～ ※5



http://www.higashinarikushakyo.jp/katsudo/meal_service/



ひとことメッセージ
コロナ禍でも地域のつながりづくりを大切に活動されています！

各区社協ホームページは、市社協ホームページ「区社協リンク」ページからご覧ください。

https://www.osaka-sishakyo.jp/kusyakyu_itiran/

連絡会合同学習会(※6)、此花区社協の「子育て応援動画」(6面に関連記事)、大正区社協の「【お家で工作】ジャックオランタンを作ってみよう♪」、東成区社協の「知って得する連続講座 運動・栄養(免疫力アップ)」、生野区社協の「おむつ・排泄用品の選び方、なかなか聞けない排泄のこと、安心・安全の力任せじゃない介護」、城東区社協の「史跡めぐり」みんなで『あ・る・こ』(※7)など、動画配信にすることで、いつでもどこからでも視聴できることが大きな強みになっています。

本ページで紹介できなかった動画や、各区社協DVDなどで発信しているものなど、まだまだたくさんあります。今後とも本誌で紹介していきます。

子育て世代の心に焦点をあてた「子育て支援動画」を配信



子育て世代と
つながるために

此花区社協では以前から、子育て支援への取組みや子育て世代とのつながりづくりに課題を感じていました。そこで「悩みや不安を抱えている子育て世代とつながる必要がある」と考え、子育て世代の方向けの「親子講座」や、子育ての悩みを気軽に相談できる「ピアサポートの会」を開催してきました。そのなかで、「悩みはあっても相談することはハードルが高いく、会に継続して参加することが難しい」と感じている方

が多数いることがわかりました。

そこで、子育てに悩んでいる方の心の助けになるきっかけになればと子育て支援動画を制作することに。思いに共感していただいた子育て中のお母さんや地域の活動者、こども・子育てプラザ、保健福祉センターをメンバーとして「此花区子育てのミカタ実行委員会」(以下、実行委員会)を立ち上げました。「悩みの解決に直結はしないかもしれないけれど、子育てに悩んでいるのは自分だけではない」と肯定的な気持ちになれる動画をめざして、実行委員会で取り上げるテーマや内容の検討

子育て中のお母さん、お父さん、子どもと関わる全ての方へ

子育て支援の動画サイト
「此花区 子育てのミカタ」
を開設しました!

子育て中のお母さんの気持ちに少し寄り添うよう「心に響く」動画を制作しました。
子育て中の方だけでなく、子どもも自由に観覧できます。

(動画タイトル一覧)

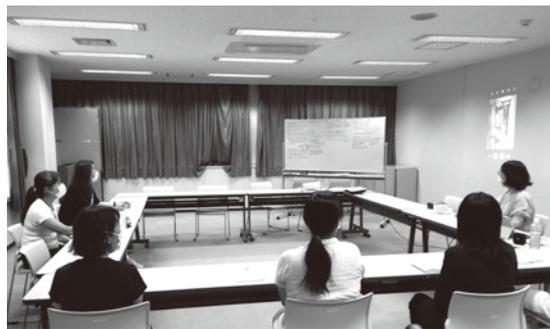
- 1 子どもにイライラ、夫にイライラ、自分にイライラ～怒りへの対処法～
- 2 自分が何もできていない、頑張れていないと思うお母さんへ
- 3 他のママたちと比べる～
- 4 うちの子はダメ、できない、いいところがない～
- 5 うちの子は他の子たちと違う、遅れている、できないことが多い
- 6 子育て中の不安・心配・焦り～不安への対処法～
- 7 子どもたちへ～生まれできてくれてありがとう～

此花区社協のホームページでご覧いただけます

動画視聴はコチラから!

【問い合わせ】
大阪府此花区社会福祉協議会
大阪府此花区3-27 産科済済あいセンター
☎06-6462-1224
☎06-6462-1994
〒595-8501 此花区此花3-27-1 産科済済あいセンター

▲QRコードから気楽にみられるようにチラシを配布



▲「此花区子育てのミカタ実行委員会」でテーマや内容を検討しました

を複数回重ねました。そして、株式会社メンタルサポート研究所の協力のもと「自分はないもできていない、頑張れていないと思うお母さんへ」「子育て中の不安・心配・焦り～不安への対処法～」など6種類の動画が完成しました。

マッサージに
行く感覚で
活用してもらいたい

子育て世代の悩みを聞いたところ、「ネットや本で子育ての情報はいくらもあるなかで、情報の取捨選択が難しく、周りと比較して自信をなくしている



▲株式会社メンタルサポート研究所認定講師の小松千恵先生

方「子育ての悩みを相談すること自体にマイナスのイメージを感じて相談できない方」がたくさんいることがわかってきました。実行委員会で検討を進めるなかで、動画を見て日々の子育てを客観的な視点で見直す機会にすることで、「肩が凝ったらマッサージに行く感覚で、悩んでいる心のマッサージに利用してほしい」と実行委員会でも考えました。

「子育て世代の方に限らずにいろいろな世代の方に動画を見てもらうことで、子育て世代に対しての理解も深まり、子育て中の方を地域で支えていくこと

につながるのではないかと考えています。地域の中には、すでに子育てを終えられた先輩もたくさんいるので、子育て世代の方と高齢者が交流できる機会もつくっていきたいです」と、令和3年度の実行委員会に携わった此花区社協・生活支援コーディネーターの久保奈津未さん。

区社協のホームページには視聴後のアンケートを掲載し、動画や区社協に対する思いを募集しています。集まった声を参考にしながら、子育て世代の方に広く届き、悩んでいる心が少しでも楽になる手助けができるよう、引き続き実行委員会でも思いをつなげていきます。

参照

「此花区 子育て支援動画」について
此花区社会福祉協議会

「此花区 子育て支援動画」は
こちらからご覧になれます▶



地域福祉活動の今

4

「コロナ禍における地域福祉活動状況調査」より

市社協では、令和3年10月から、各区社協を通じてコロナ禍での地域福祉活動の推移を定期的に調査しています。

本誌ではこれまで、各活動について①通常通り活動、②一部変更して活動、③中止・休止、④終結、⑤その他の割合を掲載してきました。今月号と次号では、活動別の「②一部変更して活動」の具体的な内容や工夫、一方で各地域での悩みや試行錯誤の声を紹介します。

「ずっと休止中だけど何かできないかな」「この方法なら、うちの地域でもできるかも」など、各地域での検討や話し合いのきっかけとしてご活用ください。



▲喫茶時のアクリル板に「ここに座った方は良い夢が見られそう」など気持ちが明るくなるメッセージを貼りつけ（平野区長吉長原東地域）

ふれあい喫茶

- 屋外で「お外カフェ」「青空カフェ」として実施
- 「飴玉喫茶」（お茶とお菓子は持ち帰りでマスクをして飴を舐めながら喫茶を楽しむ）として実施
- パンや手作りスープを会館で受け渡し
- パーテーションを設置し、2部制で人数制限を設定



高齢者食事サービス

- 会館での受け渡し前に、会館でのレクリエーションを実施
- 密を回避するため休憩スペース、交流スペースを設置
- 参加者を3部に分け、3か月に1回は参加できる形で会食を実施
- 夕食用のお弁当を配付（ボランティアが早朝から集まる負担を軽減）
- 手作りの食事から業者のお弁当に変更して実施
- 配食に変更し、お手紙を一緒につけて実施

こんな悩み・試行錯誤も…

- 食事サービスは手作りに思い入れがあるので休止中
- 配食利用者を対象としたアンケートを実施して再開に向けて準備中
- 喫茶の再開に向けて、ボランティアの練習会を実施
- 再開に向けて検討するために地域と区社協でミーティングを実施
- 会館前に「再開のお知らせはここに貼り出します」と、再開を待つ人へのメッセージを掲示



▲気持ちの良い天気のもと青空カフェを開催（平野区喜連北地域）

風をよむ

福祉にとって不可欠な平和

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 講師 鶴浦直子

2022年3月25日にインクルージョン・ヨーロッパ(Inclusion Europe)のウェブサイトに知的障がい者の家族の証言からみたロシアのウクライナ侵攻の1か月間に關する報告が挙げられた^注。避難したくても避難できず、家族で支え合うしかない、精神的に追い詰められた苦しい現状や、ソーシャルワーカーや支援団体が身の危険を感じながら、オンラインや電話、メールでの状況を届ける状況が報告されていた。

私は、今、安全が守られた場所にあり、衣食住にも困らず、生活ができています。この環境を享受できているのは、平和があつてこそだと痛感する。そして、平和であるからこそ、自己実現にも目を向けることができている。平和と福祉は密接であり、人権擁護とも深くつながっている。福祉の推進には平和の維持が不可欠である。福祉が戦争や紛争を回避するうえでどのような貢献ができるのか。一つは、相互理解や相互受容と考える。戦争や紛争の背景には、考え方の違いを受入れられないという要因がある。福祉は違いを乗り越え、共に生きる社会を目指している。相互理解や相互受容の重要性を強く意識していきたい。

(注) Inclusion Europe, "I scream into my pillow at night: One month of the Russian war on Ukraine in the words of families of people with intellectual disabilities", Inclusion Europe (<https://www.inclusion-europe.eu/wp-content/uploads/2015/03/1screamintomypillowatnight.pdf>), 17 April 2022.



みなさんの善意を

社会福祉の発展に

大阪市社会福祉協議会では、本会の事業運営にご協力いただける市民の皆さまや法人・団体等からの寄附金をお受けしています。



大阪廃棄物処理株式会社様から多額のご寄附を賜り、3月22日寄附収受式において、感謝状を贈呈いたしました。いただいたご寄附は、本会の様々な活動を通じて、地域福祉の推進に活用させていただきます。



4月19日、大阪海苔協同組合から、焼海苔を1800枚、車いす2台をいただきました。毎年寄附をいただいております。車いすは今回で累計244台となります。
寄附された焼海苔や車いすは、大阪市障害児・者施設連絡協議会と大阪市老人福祉施設連盟を通じて、市内の社会福祉施設において、有効に活用させていただきます。

5/12 木 支えあう 住みよい社会 地域から 民生委員・児童委員の日

民生委員・児童委員は、身近な相談相手として、地域の方々の生活に寄り添い、笑顔、安全安心のために、それぞれの地域において関係機関とも連携し、見守り活動など、さまざまな取り組みをおこなっています。

全国民生委員児童委員連合会は、5月12日から18日を「民生委員・児童委員の日活動強化週間」とし、全国23万人の民生委員・児童委員が一齐にさまざまなPR活動等を展開することにより、地域住民や関係団体などに、その活動や存在について、一層の理解促進を図り、委員活動の充実につなげていくことをめざしています。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、市内各区民生委員児童委員協議会においても、ポスター掲示等の啓発活動をおこなっています。



▲令和3年度活動強化週間の取り組み紹介～区役所でPRパネル展を開催～

民生委員・児童委員の日について

全国民生委員児童委員協議会(当時)は、昭和52年に、毎年5月12日を「民生委員・児童委員の日」とすることを決めました。これは、大正6年5月12日に岡山県済世顧問制度設置規定が公布されたことに由来するものです。

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

火災保険 自動車保険 旅行保険

www.ms-ins.com